

富山国際学院 取材受入れ

富山市の日本語学校、富山国際学院の学生の取材受入れをおこないました。日本語を学ぶフィリピン、ネパール、ベトナムの学生10名と先生が、日頃の座学だけでなく、地域に出て日本語を話すことや聞くことを目的にまちスポとやまに来所。「働く情熱はなんですか?」「私もまちスポとやまで働けますか?」「プログラムに参加するにはどうやって問い合わせすればいいですか?」と10名それぞれが沢山質問をしてくださりました。またオンラインでつないで今年度まちスポが飛騨でおこなう在住外国人に向けた日本語教室、防災教育の活動の紹介もおこないました。「防災食を食べてみたい」「富山での災害の備えも必要だけど勉強が必要」という学生の声が聞けました。



受入れ日時:2023年6月19日(月)10:00~11:30
受入れ団体:特定非営利活動法人富山国際学院(学生10名・先生2名)

まちスポ飛騨高山 グッとくる飛騨ライター募集 飛騨「未来の地域編集部」2023年度メンバーを募集いたします!

飛騨地域総合移住ホームページ「グッとくる飛騨」というホームページにて、下呂市、飛騨市、高山市、白川村の暮らしの情報を伝える記事を書く「未来の地域編集部」のメンバーを募集中です。

飛騨「未来の地域編集部」に所属するライターさんは、地元出身の方や移住された方など年齢も職業なども様々、文章を書くのが好き!飛騨地域の魅力を伝えたいという思いから活動しています。ホームページで公開する前には先輩ライターからアドバイスをもらえるのでライター活動が初めての方でもしっかりサポートします。

都会では体験できない飛騨地域の暮らしをあなたの言葉で、全国に発信してみませんか?

右のQRコードからお申し込みください▶



今夏はランニング中にヘビに出会いませんように
真田



地元のまき夏まつりにディズニーパレードがやってきた
田辺



梅雨到来! 布団のダニ対策をせねば!
倉本

6月のホームページ更新 <http://machispo.org>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました! <http://machispo.org/donation>

- 開催報告)第18回スキマ研究会 <http://machispo.org/sukima18report/>
- 2023年7月まちスポ飛騨高山 イベント情報 <http://machispo.org/202307event/>
- 育児介護休業規程を改定いたしました。 <http://machispo.org/notice-child-care/>



認定NPO法人まちづくりスポット 第12回総会 開催報告

2023年6月5日

認定NPO法人まちづくりスポットの年に1回の通常総会を交流スペースまちスポ飛騨高山とオンラインを併用して開催しました。総会は議決権を持つ正会員が集まって、団体の活動方針を決める大切な会議。正会員12名と事務局含むオブザーバー10名の合計22名が参加し総会が開かれました。

事業総括ー2022年度の振り返り、そしてこれから

2022年、世界は複合的な要因でエネルギーの価格が高騰し、各国の輸入物価や消費者物価に影響が出ました。私たちの生活にも大きな影響を与え、これまでの生活水準を見直さなければいけない困難な時代になりつつあります。

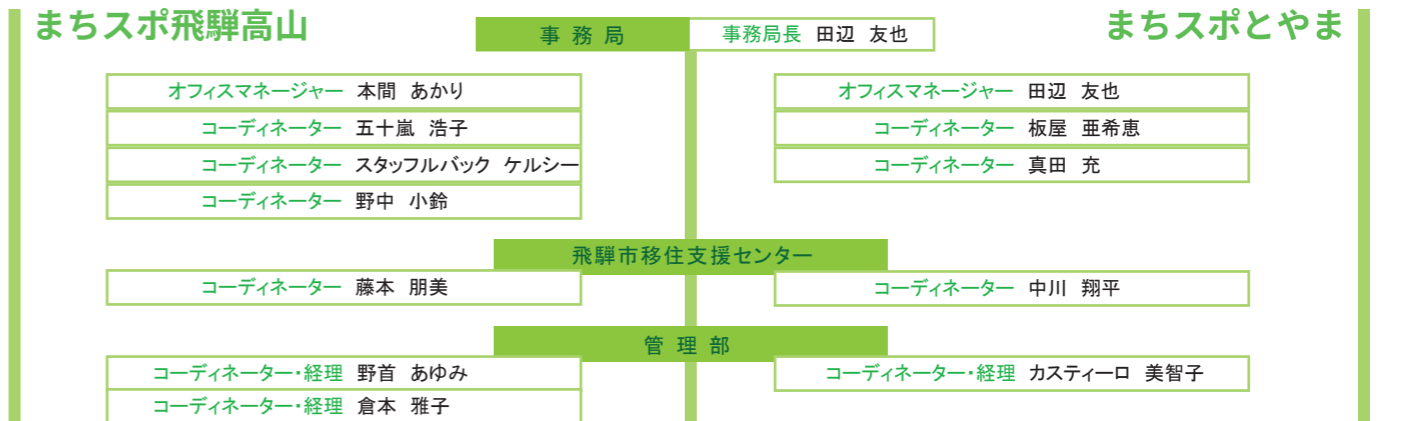
そのような社会情勢の中で認定NPO法人まちづくりスポットは2022年で10周年を迎えることができました。

私たちは10周年の記念にふさわしく、飛騨地域の課題分析をおこなった結果を「ひだスキマ白書」として1冊の本にまとめることができました。同様に、2017年に誕生した「まちスポとやま」ではこれまで5年間でつながった地域の団体のべ40団体を紹介する便利帳「元氣さがしBOOK」を発行することができました。

まちづくりスポットが「NPOを応援するNPO」として地域課題や地域資源を市民と共有するツールを10年の成果として作ることができた年でした。

これらの機運からもわかるように2023年は、新型コロナウイルス感染症による社会活動の停滞も落ちつき、いよいよコミュニティ活動も活発化する年になります。

まちづくりスポットが地域のために果たす役割について、これまでの10年を振り返り、これからの10年まちづくりスポットはどうしていくか、あらためて企業とNPOという異なる立場にいる組織が協働し、生まれたNPO団体が地域社会で果たす役割を考え、その一歩を踏み出す1年したいと思います。



役員			
代表理事 竹内 ゆみ子	代表理事 森内 潤一	副代表理事 長瀬 達三	専務理事/事務局長 田辺 友也
理事 坂口 みずえ	理事 中崎 雄二	理事 清原 清太郎	理事 中田 久美子
理事 安江 健一	理事 伴 和史	監事 鳥居 翼	

飛び出せ★元気市民
高山



さとう ロビン ともあき
佐藤Robin友昭さん

絵本で
夢と希望を与えられたら

あるときは絵画作家、あるときはギター片手に路上ライブ、現在は初めてのクラウドファンディングに挑戦中の佐藤Robin友昭さん(以下Robinさん)に、お話を伺いました。

高山との出会い

東京生まれのRobinさんは、志していた芸大進学を断念し、ギターで路上ライブをして各地を回る旅へ出ます。その中で立ち寄ったのが高山でした。木工会社で住み込みのアルバイトをしたのち木工の学校に入学、地元企業へ就職します。その後、京都で社寺建築を学びましたが、家具作り部門の閉鎖により再び高山へ戻ってきました。2019年3月、生まれつきの心臓病の発作で指2本を失う大怪我をしましたが、「落ち込んでも生きてこん。ないなりに前向きしかない。」とすぐに現実を受け止め、ギターを親指だけで弾く技法を会得。2ヶ月後には路上ライブを再開したというから驚きです。

「全国心臓病の子どもを守る会」での再会

翌年2020年に心臓病の手術を受けるため、大垣市民病院へ。そこで自分と同じように心臓病で治療中の子ども達を目の当たりにし衝撃を受け、音楽活動での募金活動を始めます。同年に「一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会」へ入会。コロナ禍ということもあり、会での会議はすべてオンラインで開催。参加したZOOM会議で声をかけられたのは以前、高山の飲食店で隣り合わせた観光旅行中の臨月だった女性でした。その時、お子さんの出産を祈ってRobinさんが肌身離さず持っていたお守りをプレゼントしたそうです。そのお守りを

今でも大事に持っていると言いつつ画面越しに見せてくれ、2022年の高山駅前でのコンサート出演時には家族で駆け付けてくれ、とても嬉しかったそうです。今までライブの出演料やCDの売上金も心臓病の子どもたちに寄附していましたが、コロナ禍で減少。届け続けたいという思いから20年以上振りに絵を描き、個展を開催しました。今度は、心臓病の子どもたちに「絵本」で夢と希望を与えられたらと、現在クラウドファンディングに挑戦中です。

受け皿を作りたい

飛騨地域に住んでいる心臓病の子どもたちは地元での治療が難しく、長野、金沢、岐阜へドクターヘリで移動したり、通院しているのが現状です。Robinさんは今、治療のための家族の経済的負担を減らしたいと、「支援したい方」と「受け取りたい方」とを繋ぐ受け皿となる基金を作りたいという大きな夢の実現に向けて、動き出しています。夢を語る呑み仲間には、音楽仲間はもちろん、お医者さんたちもいらっしやるとか。ご自身の活動について「(特別)ええことしてるつもりない。気持ちが送れたら…。子どもたちに贈るのは絵本や寄附金だったりするかもしれないが、心を届けたい。」とお話して下さいましたが、誰にでもまねできることではないと思います。熱い思いを持って活動されているRobinさんをこれからも応援していきたいです。

(まちスポサポーター:大志多恵子)

絵本プロジェクト

心臓病の子どもたちに
夢と希望と愛を



自作の絵本を出版して心臓病の子どもたちに届けるためのクラウドファンディングに挑戦中



詳細および申込は▶
こちらのフォームから



まちスポ飛騨高山

第19回 スキマ研究会 福祉×地域通貨#2

里山で価値を生み、里山で稼ごう！

第19回目となる今回は、今年で5年目となる「高山エネルギーフォーラム」の一貫で開催しました。第一部では「地域で取り組む里山保全・里山仕事の紹介」と題して活エネルギーアカデミーの澤秀俊さんより、里山の現状と課題、里山仕事で地域通貨を稼ぐ新しい仕組み”ジョブエネ”を紹介。第二部では、澤さんと一般社団法人CoIU設立基金代表理事 井上博成さん、社会復帰研究会 益田大輔さん

によるパネルディスカッションの後、全員参加のグループディスカッションを実施。子どもが贈る肩たたき券のように、投資できない等価交換の関係性をつくり、感謝の気持ちをのせられる地域通貨の活用の可能性を参加者みんなで話し合いました。

一人ひとりが先を見て、地域のために社会のために挑戦したい事を話し合える場を、今後もつくっていきます。

日時:2023年6月29日(木)18:30~20:45
会場:高山市役所地下大会議室
参加者:121名(現地92名、オンライン29名)
共催:NPO法人活エネルギーアカデミー
認定NPO法人まちづくりスポット
後援:高山市環境政策課



まちスポ飛騨高山

Report

多文化共生関係者会議

開催日:2023年6月16日(金) 場所:高山市役所

高山市で22年間日本語教師をしている岐阜県多文化推進委員の糸田恵子さんと高山市秘書交流課の職員の方々と多文化共生についての意見交換を行いました。

高山で暮らす外国人をこれまで支援してきた糸田さんから今までの現状や今後必要な取り組みについてお伺いし、高山市の目指す姿やまちスポの取り組みについて伝えあう貴重な時間となりました。

観光客との国際交流も大切ですが、母国を離れ、地域で暮らし働く外国人の方々が不安なく過ごしてもらうため、地域の仲間として尊重していく多文化共生に今後ますます力を注いでいく必要があります。

まちスポでは「企業と取り組む日本語教室と防災教育」として外国人を雇用している企業での出張講座を行います。大切な従業員のために一緒に取り組んでみませんか? 下記のQRコードからお申し込みください。



お申し込みは
こちらから



まちスポとやま

Report

総曲輪レガートスクエア官民連携事業
初夏のガーデンづくり

地域のグリーンキーパーや総曲輪レガートスクエアを利用している園芸好きの市民(グリーンボランティアとして登録)、近隣の保育所の園児、総勢20名が参加して、富山市の公園緑地課から配布を受けた花苗を植え込みました。年中児11名がシニア世代の参加者に教わりながら植える様子が見られ、和やかな多世代交流の場となりました。参加者は「普段はふれあえない子どもたちと好きな土いじりができて楽しかった」「散歩のときに植物の成長を見に来たい(保育所)」と話していました。今後も総曲輪レガートスクエアに継続的に足を運んでいただき、さまざまな活動にも参加いただけるように働きかけていきます。



開催日:2023年6月5日(月)13:00~14:00
場所:総曲輪レガートスクエア・コミュニティガーデン
参加人数:20名